

事業承継と百年企業

浅野^{よし}介^{ひろ}敬(良裕)

少し前までは企業の平均寿命は30年といわれてきましたが、東京商工リサーチの2014年の倒産企業の平均寿命調査によると23.5年に縮まっているようです。また100年、200年と続く長寿企業も多く、この差はどこから来るのでしょうか。

世界的に見た長寿企業では、2008年に韓国銀行の発表によると、200年以上続いている企業は世界で5586社あり、そのうち56%以上の3146社が日本企業であり、次にドイツの837社、オランダの222社、フランスの196社と続いています。

世界最古の企業は578年創業の神社仏閣の建設会社・金剛組。ギネスにも載っており1440年前の聖徳太子の時代から存続しています。次は705年創業の温泉旅館・慶雲間、717年創業の温泉旅館・千年の湯古まんとベスト3はすべて日本の企業です。

日本に長寿企業が多いことには幾つかの理由が考えられます。それは欧米や中東、中国等の大陸系諸国では侵略や内戦等戦乱が多く、それらに比べると日本は平和だったこと。これは日本が島国で異民族の侵入を受けることが少なかったという地理的条件もあったと思われる。しかし明治以来の戦争の歴史、また地震や火山爆発、台風等の自然災害の多さは、逆に平和や地理的条件だけでは説明し切れない部分でもあります。

それでは欧米企業等と比べて何が違うかと言うと、経営理念や文化の違いではないかと思われる。多くの長寿企業はビジネスを単に金儲けの手段とだけ捉えるのではなく、社会貢献を考え、また社員や取引先等との共存共栄を計るという理念や企業文化があります。

また人智を超えた自然や宇宙に対する畏敬の念から、神事や祭事、仏事を重視している点もあるようです。そのため一時の成功に慢心せず、謙虚でもあります。

ここで日本における創業100年以上の長寿企業の業種別の構成を見ると、1位は清酒製造業の850社、2位は貸事務所業の694社、3位は旅館・ホテル、酒小売業の693社があげられます。

これらの業種に共通しているのは、長期的な視野と空間的な立地があります。時間的にも空間的にも広い視野が必要な業種です。日本酒の麹菌等を含めた長い伝統や、水・米等の立地条件。旅館、不動産業等も立地や設備投資のためには永い視点が必要です。もちろん独自性のある高い品質の商品・サービスとそれを創り出す人間も。

天地人と言われるように、天の時・時間軸、地の利・空間軸、人の和・創造力です。時代の動き、社会の動きを見据え、社員や取引先等と協働で変化に適応し、想像・創造していく力です。

これらを少し別の視点から見ていくと、① 経営理念、企業の社会的存在意義の明確化、② 社会等環境の変化に適応し柔軟に対応できる企業文化、③ 独自性があり、高い品質の商品・サービスの提供、信頼とブランド力 ④ これらの商品・サービスを継続的に提供し自己革新できる組織体制等が考えられます。

これらをバランスよく進化させていくことは、基本的に良い企業を作っていく条件でもあり、事業承継や経営革新・改善をしていくうえでの基本的視点と言えるでしょう。

そして天地、自然や宇宙の法則に対する感性、直感、知性、謙虚な姿勢も。